

令和4年度

学校案内



北海道枝幸高等学校

継続は力なり



スクール・ミッション

- 1 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成
- 2 郷土を愛するとともに、地域産業の持続的な成長を担う職業人に求められる資質・能力を身に付けた生徒の育成
- 3 主体的に学習意欲や基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けた、自立的な生徒の育成
- 4 伝統・文化を尊重しつつ、幸せを次世代へつなげるグローバルな生徒の育成

スクール・ポリシー

- 育成を目指す資質・能力に関する方針（ディプロマ・ポリシー）
 - 1 志を強く持ち、主体的に学び考える力
 - 2 対人基礎力を高め、仲間と協働し、課題を解決する力
 - 3 ふるさとを学び、愛し、未来の地域創造に貢献する力
- 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
 - 1 生徒の実態や地域の要望等に応じた適切な教育課程の編成
 - 2 生徒の適正・能力や多様な進路に応じた教科・科目選択群の設置
 - 3 地域社会等、学校外の教育資源の有効活用
- 入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
 - 1 自己の進路実現に向けて、努力し、挑戦する生徒
 - 2 多様な考えを受け入れ、人間関係を築いていく生徒
 - 3 体力の向上、心身の健康の保持増進に努める生徒



枝高で成長、 そして自己実現

北海道枝幸高等学校長

辻 芳 恵



枝幸高校は恵まれた環境で目標や夢が叶えられる学校です。
高校と町は地域全体で将来の人材育成を図るため、「育てたい人物像」を共有して、学力向上とふるさと教育を柱とした質の高い学びを展開しています。

全国でもトップクラスのICT環境が整い、生徒の意欲、関心、進路希望に応じたきめ細やかなサポート体制があります。

大学進学には、熱心な先生方が授業、講習、個別指導そして公営塾との連携で進路希望に最も適した学びを保証します。国公立大学受験にも十分対応できます。

専門的な技術等を身に付けるために各種学校を選択する人や就職を希望する人は、出前授業やインターンシップ等で自分の適性を探り、個別の面接指導等で徹底した準備をすることができます。

進学にも就職にも有利なカリキュラムが組まれていますので、3年間でじっくり進路を考え、実現するための力を蓄えることができます。

また、地域をステージとした「えさし探究」では地域産業や歴史を知り、自ら課題を見つけ、協働して解決する探究的な学びを行います。

このことは地域理解とふるさと枝幸への愛着と誇りを醸成し、町内での安定した就職率の高さにもつながっています。

枝幸高校で、安心して思い切り高校生活をおくり、ぜひ自分の手で夢を叶えて下さい。



枝高の新しい学び

》タブレットを用いたICT教育《

枝幸高校では、枝幸町による「ふるさと教育」推進プロジェクトの一環として、1人1台タブレットが貸与されています。また、各ホームルーム、講義室には電子黒板を設置しており、ICT機器を活用した授業や講習が行われています。

全国トップクラスのICT環境

- ・iPad+ApplePencil+SmartKeyboard
- ・短焦点プロジェクタ
- ・電子黒板（巻き取りスクリーン式・移動式）
- ・AppleTV
- ・保管、充電用キャビネット
- ・校内Wi-Fi環境
- ・タブレット管理用MacBook

一人一台無償貸与

主要教室すべてに配備

本校でのICT活用場面

授業

主要教室すべてに配置された高性能プロジェクターとスクリーンを使い、豊富な映像コンテンツを使用した授業ができます。



自宅

教員の作成した映像コンテンツやClassiの学習動画を利用し、自宅にいながらの学習も可能です。緊急の際にもタブレットを用いて連絡することができます。



日常生活

クラウドサービスのClassiやteamsを使い、授業はもちろん生徒間の連絡、コミュニケーションなど、様々なシーンで活用しています。



学校生活の
様々な場面
でiPadを
活用しています

進路活動

自分にあった進学先を見つけたり、作文の添削を行ったりと、タブレットを使って効率的な進路活動をおこなうことができます。



BYODによる1人1台端末の活用について

北海道のすべての公立高校では、令和4年度よりBYOD（Bring Your Own Device 個人が所有する端末を学校で利用すること）を活用した授業が始まりました。

そのため、大部分の道立高校では、学校や家庭で使用していくこととなるパソコンについて私費負担となることを基本としています。

枝幸高校では、町の支援により学校からICT機器をすべて貸与するため、ICT教育に係る個人負担はありません。

全生徒・教員が統一された規格の機器を使用することで、より効果的なICTを活用した授業を行うことができます！

ICT活用インタビュー

3年B組 大澤 恋文 さん
インタビューアー 佐藤 優樹 先生



—— 今日インタビューに答えていただいております。大澤さんは、最近進路活動で忙しいようですが、毎日どのような生活をおくっていますか？

はい、私は医療歯科専門学校に進学したいと考えているので、最近は面接の練習を学年の先生にご協力いただいています。

—— なるほど、進路活動ではICT機器を活用する場面はありますか？

はい、私は面接の際に想定される質問をiPadにメモしたり、希望している学校の事を調べたりするのに多く使っています。他にも、私の面接試験はオンラインで行う予定なので、実際にZOOMを使用して先生とオンライン面接の練習をしています。

なかなか上手くいかないこともありますが、本番と同じ環境で練習することができるのは大きなメリットだと思います。

—— 大澤さんは入学時からタブレットを使った学校生活を送っていますが、3年間使ってきて、どのようなときに「あってよかった」と思うことがありますか？

授業中ですね。例えば授業の時に、先生の説明の中で分からないことがあったときに、すぐその場で調べることができるのが大きいです。授業の進行を止めてまで質問するのはなかなか勇気があることなので（笑）

—— そうですね。今までだったら授業中に友達に聞くか、先生に聞かなければいけないこともその場で調べることができるのは大きなメリットですね。

他にも、授業中の資料が常に自分の手元にあるのでとても見やすいです。

—— なるほど。iPadやプロジェクターを使用した授業はわかりやすいですか？

分かりやすいです。例えば化学の授業の時に、結果どのような反応が起こるのかだけではなく、危険な実験でも動画を観ることで過程を知ることができるのがとても理解するのに便利です。

—— 授業中以外で活用する場面はありますか？

はい、私は今年の学校祭の時にダンスパートのリーダーをしましたが、ダンスのお手本を大きい画面でスクリーンに映して練習したり、それぞれのパート毎に練習するときにもiPadの動画をみて練習することができました。昔からいる先生は、iPadが導入されてから学校祭のダンスのレベルが段違いにアップしていると言っていました（笑）

—— では最後に、校高のICTをアピールするとしたら、どんなところをアピールしますか？

校幸高校は申請を出したら家に持ち帰って使用することができます。私は数学などの勉強の時には家に持ち帰ってiPadで勉強をしています。タブレットで勉強すると、消しやすいし色も使いやすいので数学ではむしろ紙に書くよりも書きやすいので重宝しています！

—— 大澤さんは色々な場面でICT機器を活用しているのですね。本日はどうもありがとうございました！

枝高の新しい学び

》えさし探究（総合的な探究の時間）《

枝高では総合的な探究の時間の一環として「えさし探究」を設定しています。
2年間かけて枝幸町の歴史や文化、様々な産業を学びます。

1 学 年

「枝幸町のあゆみ」について知る



講義を通じて歴史や文化を知り、町全体を客観的に捉える。

「枝幸町の酪農業」について知る



主力産業の酪農業について知るため、育成牧場と生乳生産牧場を視察します。

「枝幸町の水産業」について知る



主力産業の漁業を知るため、講義に加えて水産加工場を視察し、水産業への理解を深める。

「枝幸町の観光業」について知る



枝幸町の観光資源と現状について知り、今後の発展について考える。

「枝幸町の林業・木育」について知る



枝幸町の林業の現状を学び、「音夢路」の散策を通じて自然環境保全について学ぶ。

グループ発表



1年を通して学んだ枝幸町について、グループごとにテーマを決めて、発表物としてまとめる。

2 学 年



- 1学年時のえさし探究で学んだことを生かし、更に自分たちで調べたいテーマを決め、プレゼンテーションする。
- 夏季休業も利用し、料理やインタビューなど自由な発想で調査を行い、グループごとに創意工夫して発表物を作成する。
- 自分たちが住んでいる枝幸町のよさや、発展の可能性などを考え、地元愛を育む。

在校生からのメッセージ

》校高においてよ



安藤 亮さん
歌登中学校出身

校高の良いところは、数学や英語が自分のレベルに合わせてクラス分けされていることです。なので数学と英語が苦手でも自分と同じレベルの人たちが周りにいるので共に助け合いながら向上していけます。また校高には、放課後に講習があったり、校内に公営塾という塾があったり、またタブレットを使った学習など勉強面でかなりサポートしてくれています。そして学校祭では自分達で案を出してダンスや旗、動画作成などクラスの人と協力して作業することができます。なので話したことがない人などと話すことができ仲良くなれたりします。高校で上手くやれるかという不安ももちろんあると思います。ですが学校は勉強面のことを全力でサポートしてくれますし、クラスに馴染めない時期もあると思いますが絶対に友達もできます。みなさんも校幸高校に入学して楽しい思い出をたくさん作りましょう。



守谷 歌音さん
枝幸中学校出身

校幸高校に入学して感じたことは、2つあります。
1つ目は、自主性や主体性を求められるということです。日常生活での自己管理や、自ら考え行動に移すということが重要になってきます。今までとの違いに慣れないこともあるかもしれませんが、自主性や主体性は、社会に出た時に必ず役立つ物なので、将来の自分への投資にもなります。
そして2つ目は、進路を考える機会がたくさんあるということです。実際に、大学の先生などが高校に来て授業をしてくださったり、色々な学校の説明を聞く授業などがあります。なので、進路について何も決まっていなくても、進路選択の幅が増え、自分に合った進路を見つけることができます。
ぜひみなさんも、校幸高校で進路を見つけて充実した3年間を送りましょう！



野坂 このみさん
枝幸中学校出身

私が校幸高校に入学して感じたことは、勉強に取り組むやすい環境が充実しているということです。英語、数学では2クラスに分かれているため自分に合った授業を受けることができます。またタブレットを活用した授業や、講習などもあります。もし、わからないことがあっても、先生方が理解できるまで丁寧に教えてくださいます。なので入学当初、勉強面で不安を抱いていた私も、今は自分のペースで理解しながら勉強に取り組むことができます。
また、進路活動も充実していて、特に出前授業・職業職種説明会では、進路が決まっていなくても将来の夢がない人でも、道内の大学・短大・専門学校の方々の説明を聞くことができるので、自分の将来をより深く考えることができるとてもいい機会だと思います。
部活動では運動部と文化部があり、中学校の頃にはなかった部活動もあるので、自分の好きなことをしたり、新しいことにも進んで挑戦することができます。
学校祭などの楽しい行事もあるので、ぜひ校幸高校に入学してみんなで青春しましょう！



佐藤 礼旺さん
枝幸中学校出身

校幸高校に入学して良かったと思うところを3つ紹介します。
1つ目は勉強面のサポートがすごく充実しているところです。公営塾や1人1台のiPad配布など、今まで勉強が苦手な高校の勉強についていけない心配な人もそれらを駆使し意欲的に取り組めば困ることも減っていきます。
2つ目は行事についてです。学校祭などの行事では学校全体が一つとなり盛り上がるすることができます。
3つ目は部活動です。部活動は、様々な種類があるので自分に合った部活を見つけることができます。僕は野球部に所属していますが先輩が優しく接してくれるので、楽しみながら部活動を行うことができます。
皆さんも校幸高校に入学して、充実した楽しい高校生活を送りましょう。



須摩 龍矢さん
枝幸南中学校出身

校幸高校に入ってから感じたことは、勉強するための環境が良いところです。数学や英語はレベル別クラスが分かれているので、自分のレベルにあった勉強ができます。悩むことが少なくなり、より理解が深まります。その他にも放課後に講習を行うなど生徒に寄り添った環境が整っています。
そして、文化祭などの行事では、自分達で考え作成、運営することで、高校ならではの体験ができるのでとても良い経験になりました。
校幸高校は生徒一人一人が楽しく充実した生活を送ることができます。校幸高校に入ると良いことばかりなので是非きてください。



鈴木 杏侑さん
歌登中学校出身

このメッセージを読んでいる人に、ぜひ知って欲しいことがあります。それは校幸高校が魅力で溢れた高校だということです。
私が校高に入学してよかったと思った一番の理由は「自分らしい」制服を選べることです。今年度から女子生徒用のスラックスが導入され、制服の選択の幅が大きく広がりました。私も普段からスラックスを着用しています。自分の意思で選んだ制服は、毎日の高校生活を明るくしてくれます。
また、先生方が親身になって生徒の悩みに向き合ってくれることもそのひとつだと思います。学習での悩みは勿論、日々の生活に関する相談にも乗ってくれます。
校幸高校の魅力は日々の学校生活から気付かされるのがほとんどです。入学しなければわからない「良さ」を、みなさんも感じてみてください。

枝高の 1 年

》仲間とともに過ごす貴重な時間…共感する態度を育てる多彩な行事《

4月

- ▶ 入学式
- ▶ 対面式



4月【入学式】



8月【インターンシップ】

5月

- ▶ 生徒総会
- ▶ 高体連
支部大会



5月【高体連】



10月【見学旅行】

6月

- ▶ 前期中間考査
- ▶ 高体連
全道大会
- ▶ 情報モラル
講座



6月【情報モラル講座】



1月【スキー授業】

7月

- ▶ 学校祭
- ▶ 夏期講習
- ▶ 職業説明会



7月【学校祭】



3月【卒業式】

8月

- ▶ インターン
シップ

9月

- ▶ 前期末考査

10月

- ▶ 見学旅行
- ▶ 進学相談会

11月

- ▶ 後期中間考査

12月

- ▶ 冬期講習

1月

- ▶ 卒業考査
- ▶ スキー授業

2月

- ▶ 学年末考査

3月

- ▶ 卒業式
- ▶ 企業説明会
- ▶ 修了式

上記のほか

- ◆ 制服着こなし講座
- ◆ 交通安全講話
- ◆ 薬物乱用防止教室
- ◆ 社会人教育
- ◆ スポーツフェスティバルを実施しています

枝高の1日と3年間

●1年生の時間割の例

	月	火	水	木	金
8:25~8:35	朝 読 書				
8:35~8:45	S H R (出席確認・連絡)				
1	国 語	英語 I	国 語	国 語	英表 I
2	英語 I	体 育	英表 I	保 健	地理 A
3	体 育	音楽 I	英語 I	英語 I	科 学
4	音楽 I	国 語	情 報	数学 I	数学 I
昼 休 み					
5	家 庭	家 庭	数学 I	体 育	体 育
6	情 報	地理 A	科 学	音楽 I	行 事
7			L H R		

※通常50分授業、7時間授業の日は5分縮短授業

枝高の1日は、生徒と先生と一緒に本を読み、落ち着いた雰囲気が始まる！



- 基礎・基本から応用力まで、生徒一人一人に合わせて学びの土台を作ります。
- 実技を行う科目では、体験的に学びながら広い分野に渡る能力を求めます。
- 総合学習やLHRでは進路探求、社会人教育などを通して自身の将来について考え、社会の一員になるのにふさわしい能力を身につけます。
- 教員が選んだ様々な分野の新聞記事を読み解き、読解力を養う「朝新聞」活動を行います。
- 週に一回程度、7時間授業を設定することで十分な学習時間を確保しています。
- 部活動、講習、個別指導など目的を持ち充実した放課後を過ごします。

» より高いレベルを求め、仲間とともに切磋琢磨して進路希望を実現

[illegible]

- (1・2年) 国語、数学、英語に授業時数を多く割り当て、進路希望に適した学力の基礎を作ります。
- (3年) 入試科目や進学後の学習、就職後のスキルアップにつながる科目を選択できます。

- 【例1】文系の進学を希望

- 2年選択 数学B
3年選択Ⅰ 応用英語
3年選択Ⅱ 時事問題研究
3年選択Ⅲ 現代文研究&古典講読
3年選択Ⅳ 数学研究

- 【例2】理系の進学を希望

- 2年選択 数学B
3年選択Ⅰ 応用英語
3年選択Ⅱ 化学
3年選択Ⅲ 物理or生物
3年選択Ⅳ 数学研究or数学Ⅲ & 数学C

- 【例3】就職or専門学校を希望

- 2年選択 簿記
3年選択Ⅰ 簿記
3年選択Ⅱ 演奏研究
3年選択Ⅲ 保育基礎&生涯スポーツ
3年選択Ⅳ 情報処理

》熱心な教師陣による手厚い指導、活力のある放課後

進路講習

桜幸高校では大学進学を目指すみなさんを「総合的に」サポートします。講習や模試の実施はもちろん、各講習担当の先生がセレクトした参考書・問題集を斡旋し、どのように風に勉強すればよいかのアドバイスもあります。また、講習と公営塾は連携しています。講習のアフターフォローも公営塾に通えばバッチリです。

また、3年生に対しては小論文の講習・添削も行っており、様々な入試形態に対応できるような体制になっています。

- ◆私立大学一般入試～大学入試共通テスト対策
1・2学年 国・数・英
3学年 国・数・英・理・社
◆小論文講習・添削指導



主な
習内容

卒業生 メッセージ



弘前大学 理工学部地球環境防災学科卒

北海道大学大学院 環境科学院環境起学専攻人間・生態システムコース
総合商社内定

岩 渕 啓 祐 さん【平成28年卒業】



校高在学中は野球部に所属しており学業との両立に努めていました。私は進学を目指していたため、朝や放課後の補習授業に積極的に参加し、勉強する習慣を身に付けるように心掛けていました。大変ではありましたが、校高ならではの「受験はチーム戦」精神で皆と協力しながら乗り越えていました。また、休日には模試と部活動が重なってしまうことが多かったのですが、生徒の意欲に対して非常に献身的な先生方が多く、様々な場面で双方を後押ししてくれる環境が根付いていることは校高の強みだと思います。

現在は大学院で枝幸を対象にホクテガイの研究を行っています。また、大学時代の留学をきっかけに国際関係の仕事に就きたく、来年春からは総合商社で働きます。

私から言えることは、視野を広く持つことです。一つの選択肢として視野を広げるという意味ではとりあえず、進学してみようも悪くないことかと思えます。たくさんの経験の中で夢を見つけてください。



札幌保健医療大学 保健医療学部看護学科

金 野 光 莉 さん【令和2年卒業】

私は枝幸高校に在学中、自分の進路に合わせた科目を選択し、受講者が少ない授業では積極的に質問をすることで多くの学びが得られたと感じています。また、進路が確定するまでは友人とともに勉強し、先生方を頼りながら進路活動を進めました。

高校では、進路活動において自己分析することが最も重要だと学びました。自己分析をすると自身の不足している点や目標に向けて必要になる部分を補うため、今後の行動を計画することができます。この進路活動で学んだ自己分析と行動計画は今でも生かされています。

現在私は進学先で看護について学んでおり、毎日課題をこなす事で精一杯ですが、友人達と励まし合いながら頑張っています。今後も高校生活で学んだことを生かし、目標実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。



宗谷管内町村職員（枝幸町）

佐 藤 瑚 南 さん【令和2年卒業】



私は高校在学中、3年生になるまで就職するか進学するかで悩んでいました。どちらを選んでも苦勞しないように勉強にはしっかり取り組むようにしていました。また、1年生のうちから希望する大学や職種の情報収集を行い、どんな勉強や活動をするべきかを調べるようにしていました。

枝幸高校では先生と生徒の距離が近く、一人一人の進路希望に合わせたサポートやアドバイスをしてくれるため、進路実現のため何をすれば良いか困ることはありませんでした。特に面接練習では多くの先生方に意見をもらい、自信を付けて本番に臨むことが出来ました。

いま私は枝幸町役場の教育委員会で働いています。初めて経験することも多く忙しい毎日ですが、高校での学びを活かして頑張っています。皆さんも将来に向けて勉強や進路活動を頑張ってください。



南宗谷消防組合

横山 航大 さん【令和2年卒業】



私は現在、枝幸消防署に勤めています。もともと高校時代は野球部に所属しており、体力には自信があり、野球で培ってきた体力面や精神面を活かせる職業に就きたいと考えていました。本格的に消防に入りたいと思ったのは3年生の5月からです。私は部活動の両立

と勉強で最初の頃は不安な気持ちでいっぱいでしたが、公務員を目指してる仲間たちと助け合いながら、過去問や問題集を何度も解き、面接なども先生方の熱い指導のおかげでなんとか乗り越えることができました。現在は日々訓練や消防業務をこなしながら、災害や出動に備えて仕事に励んでいます。これから進路などでたくさん悩むことだと思いますが、まずは3年間という高校生活を仲間達と全力で楽しんで、たくさんの思い出を作ってください。そして、進路活動なども悔いが残らないように頑張ってください。応援しています。

旭川医科大学 看護学科

阿部 聖母 さん【令和3年卒業】



私は現在、旭川医科大学の看護学科に在籍しており、看護師の国家資格取得のために、専門的な知識や技術を学んでいます。

枝幸高校は、進路指導に力を入れていると思います。私が進路に迷っている時は、いろいろな選択

肢があると教えてくれました。急に専門学校から国公立大学に進路希望を変えた時にも、否定せず背中を押してくれました。放課後には面接練習の時間を作ってください、毎日指導してくれました。そのおかげで、今の大学に進学することができたと感じています。

大学に進学してみて、大学では自己管理をしっかりしないといけないと実感しています。高校生のうちから計画を立てて行動するようにしてみてください。これは、進学後だけでなく、定期試験や受験勉強の時にも役立つはずです。

高校生活を振り返ったときに後悔しないよう、今しかできないことを思う存分楽しんで、思う存分学んでください。



札幌学院大学 経済経営学部経営学科

三本 悠真 さん【令和3年卒業】

私は進路決定の際に成績で困らないように1、2年生の頃から学習面で手を抜かずに取り組みました。進路活動で大切なことは、なぜその大学を選んだのかという考えを明確にするため、志望大学の特徴や強みを理解し、他大学との比較をすることだと思います。この作業をすることで、志望理由の記入の際にしっかりした文章が書けると思います。また、面接でどんな質問が来てもいいように、事前の準備をしっかり行うことが必要だと思います。特に必要なのが大学で学びたいことの基本的な部分を調べておくことです。調べておくことで面接の際に詰まらず答えられると思います。

皆さんも、早め早めの行動で後悔しないように自分の進路を実現して欲しいと思います。応援しています。



札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校

SNSアーティスト&テクノロジー科

吉田 嶺飛 さん【令和3年卒業】

私は今、音楽の専門学校に通いつつSNSを中心に芸能活動をしています。そしてこの進路を選択出来たきっかけは間違いなく高校生活にあります。枝幸高校では生徒思いの強い先生が多いと感じました。1人1人の事をしっかり覚えてくれて沢山アドバイスをくれます。私は野球部に所属しており顧問の先生方からの教えて礼儀や挨拶を特に大切にしてきましたが、それが野球部だけでなく学校全体でそういった風潮になっていました。そしてこれは今1番役に立っています。最後に、私は高校生活ですべき事はいかに周りの人から勉強できるかだと思います。それは数学や国語といった勉強だけではなく好きな事や、マナー、挨拶など自分に必要だと思うこと全てが勉強だと思います。このメッセージ欄を自主的に見てくれるだけでも向上心が高く素敵な方だと思うので自分に自信を持って積極的に頑張ってください。



枝高の部活動

学習と両立し、活動を通して
思いやりや協調性など豊かな
人間性を身につけます

ボクシング部



私たちは、ボクシングを通して体力・精神力を向上させ、ひいては人間性を高めることを目的に練習しています。普段はロードワーク、シャドーボクシングやミット打ち、サンドバックでパンチや防御の練習をしたり、実践形式の練習をしたりしています。OBの方も指導してくれています。高校からボクシングを本格的にはじめてみたい人、「ボクサーサイズ」をして健康的になりたい人、目的も男女も問わず誰でも大歓迎です！（女子選手もいます。）ボクシングは本当に楽しいスポーツです。少しでも興味がある方はぜひボクシング部に来てください！

陸上競技部



私たち陸上競技部は選手2名で活動しています。人数がとても少ない中、自己記録更新はもちろん、全道大会・インターハイへの出場を目標とし、日々邁進しています。陸上競技には「走る」以外にも「跳ぶ」「投げる」「歩く」など様々な種目があります。どんな人にも必ず自分に合う種目が見つかります。陸上未経験者も経験者も大歓迎！自分の新しい可能性を広げましょう。

硬式野球部



私たち野球部は、1、2年生選手11名、マネージャー1名で活動しています。「つらい練習を乗り越えたその後には必ず結果がついてくる」、「一生懸命取り組んだ経験が心を強くする」、「仲間を信じてプレーすることで人間として成長する」ことを信じ、甲子園を目指して日々練習しています。そして、常に応援して下さる全ての方々への感謝を忘れずに活動していきます。

サッカー部



私たちサッカー部は選手9名、マネージャー3名の計12名で活動しています。サッカー部では全道大会出場を目標に日々練習に励んでいます。普段はシュートやパスなど基礎的な練習を行い、実戦で生かせるようにしています。そして先輩、後輩の関係も良く、普段から支えてくれている周りの人への感謝も忘れないなど、サッカー以外のことも大切にしています。未経験者大歓迎です。

卓球部



卓球部は男子4名、女子2名の6名で活動しています。人数が少ない中でもできることは何かを考え、個々の課題を克服したり、長所を伸ばすために、和気あいあいとした雰囲気の中で練習に取り組んでいます。歴代の先輩方は地区大会優勝や全道大会出場等、好成績を残しています。私達も、より良い成績を残せるよう、一人一人がモチベーションを高く持ち、日々全力で活動しています。

女子バレーボール部



女子バレーボール部は、今年、豊富高校と合同チームを組んで高体連に臨みました。大会が終了し、3年生が引退した後は部員が0名となり、合同チームを組むことのできる学校もないため、現在は活動を休止しています。合同チームが組めるようになるか、通常の練習ができる人数が集まればすぐにでも活動を再開することができると、バレーに興味がある方は経験者でも初心者でも大歓迎です。一緒に活動できる日を楽しみにしています。

音楽部



私たち音楽部は、1年生8名、3年生6名の計14名で活動しています。私たちは主に、全道大会・全国大会を目指したトーンチャイムの練習と、各々興味のある楽器の練習、発表をしています。恵まれた環境や支えてくれている人々への感謝を忘れず、個々としても、チームとしても成長できるよう、これからも頑張ります。

バスケットボール部



私たち女子バスケットボール部は部員6名、顧問2名の計8名で活動しています。人数はあまり多くありませんが、その中で「公式戦で2勝する！」を目標に日々練習に励んでいます。先輩、後輩の仲が良く、すごく楽しい雰囲気の中でバスケットに取り組んでいます。経験者の子でも初心者の子でもマネージャーでも、バスケットに少しでも興味がある子は誰でも大歓迎です！

総合文化研究部



私たち総合文化研究部は、平日は週に1回、月に1回土曜日に活動しています。昨年度は海洋プラスチックごみ問題について研究し、高文連郷土研究発表大会で発表しました。今年度はオホーツク人の食について研究を進めているところです。その他に、クッチャロ湖でのカヌー体験や目梨治遺跡での発掘調査を行う予定です。この部活では、気になったことに対して、幅広く調査や体験をすることが可能です。また、趣味や勉強との両立がしやすいという面もあります。少しでも興味がある方は一度来てみてください。